



ケイトウの簡易定植機による省力化

1. 背景

徳島県では、仏花に利用されるケイトウ栽培が盛んで、京阪神を中心に出荷されている。盆、彼岸などの需要期に向けた栽培が行われており、苗の植え付けは1本1本手作業で行っているため、多大な労力と時間がかかっている。

そこで、定植作業を省力化するために、簡易定植機によるケイトウ定植の実用性を検討した。



簡易定植機 (HP-VWT, 商品名ひっぱりくん)

〔人が機械を引っ張ることにより、専用のチェーンポットがつながったまま引き出され、定植できる〕

2. 成果

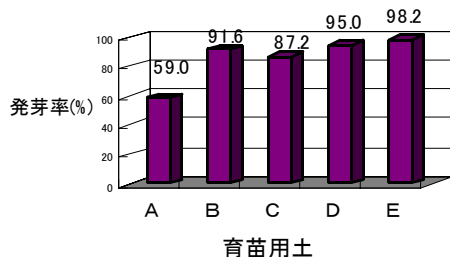
(1) 慣行の手植えよりも大幅に短縮された。

第1表 簡易定植機利用と慣行手植えの定植時間

	定植時間
簡易定植機	1. 1 h
慣行手植え	111. 0 h

注) 定植のみにかかる時間(2人)
10a(約6万本)当たり

(2) 専用のペーパーポットの育苗用土は、メトロミックス350単用(D)、メトロミックス350とバーミキュライトの混合用土(E)で、発芽率、地上部および根の生育が良好であった。



A:スパーミックス A 単用
B:スパーミックス A+バーミキュライト
C:スパーミックス A+パーライト
D:メトロミックス 350 単用
E:メトロミックス 350+バーミキュライト

(3) 切り花品質は、慣行の手植えに比べ、簡易定植機で定植した方が茎が太く、過重で、ボリュームのありすぎるものとなり、多少劣った。

第2表 ケイトウの定植方法と育苗用土の種類と生育開花

試験区	用土の種類	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	花冠の大 きさ (cm)	中位茎径 (cm)
慣行手植え	スパーミックス:パーライト(2:1)	73.8	68.0	6.2×5.2	0.77
ひっぱりくん	メトロミックス単用	85.8	88.0	5.8×5.0	0.88
	メトロミックス:バーミキュライト(2:1)	77.8	82.0	5.8×5.0	0.85

注) 慣行手植えは288穴セルトレイに播種

3. 成果の活用・留意点

- ・簡易定植機利用により定植の省力化が図れ、相生町の一部生産者で定着している。
- ・簡易定植機で定植する場合、発芽率を高め苗の生育を揃える必要があり、育苗が重要である
- ・専用の簡易播種器具が開発され、播種作業についても省力化された。
- ・改良版軽量型簡易移植機が発売されており、苗箱のセット、最小条間が変わった。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 花き園芸担当

TEL (088) 674-1660 FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>